

2014年(平成26年)2月5日(水曜日)

## 日本経済新聞

## 犬用ガム生産増強

## ダイワ、能力5割増 新設備導入など

犬用ガム製造のダイワ（兵庫県たつの市）は牛革で作る同ガムの生産能力を5割増強して年1440万本にする。本社の物流倉庫に新たに生産設備を導入し、生産ラインの一部工程を本社工場から移管する。総投資額は約2億円を見込む。円安などで海外製品の価格が

上昇し、高品質な日本製の需要が高まっていることに対応する。

倉庫にガムの長さを5ミリ、15ミリに切断する機械を4台、生の牛革を乾かす乾燥機を3台、製品を袋詰めする自動梱包機3台をそれぞれ導入する。本社工場からは切断

す。今月中に設備の導入・移転を始め、5月にも本格稼働させる。設備導入後も倉庫の一部は在庫管理や配送の拠点として活用する。

乾燥・梱包の工程を移

す。今月中に設備の導入・移転を始め、5月にも本格稼働させる。設備導入後も倉庫の一部は在庫管理や配送の拠点として活用する。

犬用ガムはかむことで唾液を出し、口内を清潔にして健康を保つ目的がある。国内の小売店など

は中国製など価格の安い海外製品を一部調達していた。円安や現地の賃金上昇によるコスト増に伴い、国産も価格面で競争できるようになり、品質の良い国産に切り替える動きが出てきているという。設備増強などに併せ、

現在約100品目ある製品を売れ筋の50品目に絞り込み、利益率を高める。

ダイワの2013年2月期の売上高は約7億円。生産能力の増強などで17年2月期には15億円にすることを目指す。